

ほほえみ



Vol.66

副院長就任ご挨拶

副院長、外科総括部長 谷川 隆彦

昭和62年鹿児島大学卒業後、大阪大学第二外科に入局し、関連病院での勤務を経て、本年4月から藤川正博副院長の後任として赴任いたしました。

私が担当する外科領域は、鏡視下手術(腹腔鏡という小さなカメラをお腹の中に入れて、モニター画面を見ながら行う手術)の適応拡大、ロボット手術の導入、新規抗がん剤の開発、遺伝子診断による個別化治療などあらゆる面で進歩を続けています。これらの「最新の医療」をいち早く導入しようと全国の基幹病院が競い合っており、「最新の治療」を求めて患者さんが大病院に集中する傾向にあります。しかし、冒険的な試みは思わぬ医療事故につながることもあり、某大学病院での腹腔鏡を用いた肝臓手術による死亡事例は、私たち外科医にとっても衝撃でした。このため、「最新の医療」に「安全性」を重視した「最善の治療」を地域の皆様方へ提供することが重要と考えております。「最善の治療」を標準化し全国に効率的に広めるために、各学会・研究会の主導により多数の診療ガイドラインが作成され、エビデンス(科学的根拠)に基づいた治療が推奨されています。このため、当科では各種診療ガイドラインに準拠した治療方法を基本として、患者さんに納得していただくまで十分に説明を行い、患者さんの状態に応じた無理のないオーダーメイドの治療を心がけたいと思います。

当院は、先達の努力によって2012年に兵庫県がん連携準拠点病院の指定を受けており、「がん予防」「がん医療の充実」「がんとの共生」をテーマとして、がん対策を推進する役割を与えられています。外科においては、手術を中心に、化学療法、カテーテル治療、他病院との連携による放射線治療、緩和ケアなどを適切に提供し、開業医の先生方と連携を取りながら、地域がん診療の中核的役割を担うよう努力していきたいと思っております。近年、消化器がん領域でも腹腔鏡を用いた手術が導入され、体に負担の少ない外科的治療が可能になってきました。胃がん・大腸がん治療ガイドラインにも手術方法の1つと

して記載され、広く認知されてきました。当院においても、安全性が確立された腹腔鏡手術については消化器カンファレンスで十分に適応を検討した上で、積極的に行う方針にしております。

一方、胆石症、虫垂炎、消化管穿孔、腸閉塞などの急性腹症や、ソケイヘルニア、痔核などの外科的疾患につきましても、総合診療科や地域医療連携室を窓口として、消化器内科、麻酔科、中央手術室などと協力し、積極的に取り組んでいきたいと思っております。特に、急性胆のう炎に対する早期腹腔鏡手術は胆のう炎治療ガイドラインでも推奨されており、当科でもその方針に従って手術適応を決めております。

当院の外科は大阪大学消化器外科の関連病院として外科医5名で運用しております。このため、24時間体制での緊急手術の受け入れは困難な状況ですが、現在、外科医が19時まで待機できるよう体制作りを図るなど、救急患者さんの受け入れ強化も目指しております。今後ともご協力、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



腹腔鏡を用いた手術風景(一番右が筆者)

3月初めに、患者さんから頂いたマリーゴールドの種をまきました。1メートル四方の小さな花壇です。4月に芽がふき、元気よく育っています。

黄色や橙色の花が楽しみです。白かもしれません。そして、今度は自分で種を取り、来年まで保存するつもりです。咲いた花々を写真に取り、患者さんに見せて一緒に喜びたいと願っています。

花は心、種はわざ、世阿弥の言葉です。能の奥義を究めるためには、花を知ることである。まことの花は咲く道理も散る道理も心のままである。7歳よりこのかた年来稽古の条々、物真似の品々をよくよく心中に当てて分かち覚え、能を尽くし工夫を究めて後、この花の失せぬところを知るべきである。

この物数を究める心が、すなわち花の種となる。されば花を知りたくば、まず種を知ること。花は心、種はわざである。

(現代語訳 風姿花伝)

人生の場面、場面、苦心惨憺して咲かせたその時々の花、散った後もすべて種として大事にし、一度に持っておけば、必要な時求められる花が蘇り、その人の人間性をさらに豊かにする、このように解釈して独り合点しています。



食中毒予防

今すぐできる食中毒対策!!

感染制御実践看護師 後藤 ちえみ

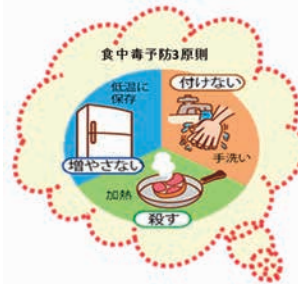
気温や湿度が高くなりはじめ、食中毒が発生しやすい時期がやってきました。食中毒というと、飲食店での食事が原因と思われがちですが、毎日食べている家庭の食事でも発生しています。普段当たり前にしていることが、思わぬ食中毒を引き起こすことがあるのです。

食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し、体内へ侵入することによって発生します。

■細菌の場合は、細菌を食べ物に「つけない」、食べ物に付着した細菌を「増やさない」、食べ物や調理器具に付着した細菌を「やっつける」という**3つが原則**となります。

■ウイルスの場合は、食品中では増えないので、「増やさない」は当てはまりません。ウイルスは、ごくわずかな汚染によって食中毒を起こしてしまいます。ウイルスによる食中毒を予防するためには、ウイルスを調理場内に「持ち込まない」、食べ物や調理器具にウイルスを「ひろげない」、食べ物にウイルスを「つけない」、付着してしまったウイルスを加熱して「やっつける」という**4つが原則**となります。

万が一、細菌やウイルスが調理場内に持ち込まれても、それが食品に付着しなければ食中毒に至ることはありません。こまめな手洗いを行いましょう。しかし、手に付着した細菌やウイルスは水で洗うだけでは取り除けません。指の間や爪のままで**せっけんを使って正しい方法で手を洗いましょう!**



★細菌やウイルスの付着を防ぐ正しい手の洗い方★



最新の骨密度装置を導入しました

4月に骨密度測定装置（HOLOGIC社製HorizonW）を導入しました。新装置の導入により、従来の装置のように前腕のみの測定でなく、腰椎・大腿骨・全身の骨密度測定が可能となり、高精度な骨密度測定が可能となりました。骨粗鬆症診療においては、腰椎・大腿骨での評価がゴールドスタンダードとされています。また、当機での測定ではベッドに上向きで寝てリラックスした状態で骨粗鬆症の検査を受けていただけます。骨密度測定については、主治医または循環器内科外来にお尋ねください。



新入職医師のご紹介

副院長、外科総括部長

谷川 隆彦(たにかわ たかひこ)

専門分野：消化器外科

趣味：バスケットボール、スポーツ観戦

4月から外科に赴任して参りました。腹腔鏡手術などの低侵襲治療や最新の抗がん剤などを積極的に取り入れて、地域の皆様方の健康維持に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願い致します。



外科医長

俊山 礼志(としやま れいし)

専門分野：消化器外科、肝胆膵領域

趣味：ランニング、音楽鑑賞

4月より外科に赴任しました俊山礼志です。地域の医療に少しでも貢献できるように精一杯頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。



形成外科医長

村上 英毅(むらかみ ひでたか)

専門分野：形成外科一般

趣味：旅行、街歩き、子供たちと過ごすこと

今年度より赴任いたしました。頭从天辺から足の爪先まで、形成外科領域のことは何でも御相談ください。臨床医、研究者(社会人大学院生)、そして2児の父として、いずれも熟達にはまだまだですが、微力ながらお役に立てるよう、精一杯努めて参ります。



内科副医長

神崎 曉慶(かんだき あきのり)

専門分野：糖尿病、内分泌代謝

趣味：音楽

地域の皆様の健康保持増進に尽力致します。



循環器内科副医長

高橋 怜嗣(たかはし さとし)

専門分野：循環器内科一般

趣味：読書、音楽鑑賞、トレッキング、剣道など

4月に赴任いたしました高橋怜嗣と申します。これまで循環器内科、特に不整脈の診療を行って参りました。皆様の健康のお役に立てるように精進研鑽して参ります。宜しくお願い致します。



総合診療科副医長

高井 研次(たかい けんじ)

専門分野：循環器、糖尿病、内分泌代謝内科

趣味：家族サービス

地域の皆様に貢献できるように頑張ります。



整形外科副医長

大寺 秀介(おおでら しゅうすけ)

専門分野：整形外科一般

趣味：ゴルフ、旅行

患者さんに分かりやすく説明して、気軽に接して頂けるように心がけています。よろしくお願い致します。

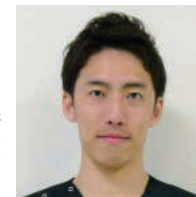


整形外科医員

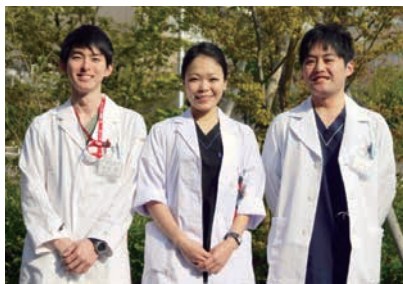
福本 篤史(ふくもと あつし)

専門分野：整形外科一般

4月から川崎病院で勤務しております。精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



初期研修医



(左)

高岡 慧

(たかおか けい)

趣味：ゴルフ、映画鑑賞、旅行

患者さんに寄り添った医療ができるよう、日々精進して参ります。よろしくお願い致します。

(中)

朝原 ひかり

(あさはら ひかり)

趣味：映画鑑賞、散歩

患者さんに信頼される医師を目指して、日々元気に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

(右)

中條 峻志

(なかじょう たかゆき)

趣味：音楽鑑賞(吹奏楽)

初期臨床研修医1年目の中條峻志です。未熟者ですがよろしくお願い致します。

平成30年度入職式を行いました

4月2日(月)に平成30年度の入職式を行いました。今年度は研修医3名、看護師32名(内、保健師3名)、薬剤師1名、作業療法士1名、臨床検査技師1名、臨床工学技士1名、診療放射線技師2名、歯科衛生士2名、社会福祉士1名、事務職2名の計46名が新たに川崎病院の一員になりました。

これからも地域一番の患者さんの心に寄り添う病院を目指して、病院一丸となって頑張る参りますのでよろしくお願い致します。



病院敷地内の全面禁煙のお知らせ

健康増進法の趣旨を踏まえ、敷地内の全面禁煙を実施しております。

当院では「禁煙外来」を開設し、禁煙の指導および支援も行っています。禁煙の重要性を理解し、より健康な生活をおくるきっかけといただければと思います。

※加熱式タバコも敷地内では吸えません。



糖尿病（基礎・応用）講座のお知らせ（平成30年6月～平成30年8月開催）

【外来糖尿病教室基本コース】

外来糖尿病基本コースは、はじめて糖尿病と診断された方とご家族、糖尿病について基本から知りたい方、糖尿病境界型の方を対象にして開催しております（テーマごとに深く知りたい方は【糖尿病実践講座(外来糖尿病教室応用コース)】にご参加下さい）。

目的	糖尿病についての基本的知識の習得
内容	ビデオ鑑賞、糖尿病の講義、栄養の講義
場所	全コースとも西館4階 糖尿病教室
受講料	無料(テキスト代210円のみご負担下さい)

第267回	平成30年6月1日(金)	午後1時30分～4時
第268回	平成30年6月29日(金)	午後1時30分～4時
第269回	平成30年7月27日(金)	午後1時30分～4時
第270回	平成30年8月24日(金)	午後1時30分～4時

【糖尿病実践講座(外来糖尿病教室応用コース)】

応用コースでは糖尿病について基礎知識のある方と
そのご家族を対象に開催しております。

第100回
平成30年7月13日(金)

糖尿病食バイキング100：認知症予防に役立つ糖尿病食

山本管理栄養士

講演：健康寿命を延ばす糖尿病治療

大塚副院長

申込方法

基本コース、応用コースともに東館1階の内科外来にてお申し込み下さい。
※川崎病院糖尿病教室には川崎病院に通院していない患者さんも参加できます(診察不要)。

川崎病院医療理念

「良質な医療を提供し、信頼される病院に」

基本方針

1. 地域の人々の疾病の治療と健康の維持に、他の医療機関と連携し貢献します。
2. 患者様の権利と尊厳を尊重し、病状と治療方針を十分に説明し理解していただくよう努めます。患者様の個人情報決して第三者に漏らすことはありません。
3. 患者様が心地よく治療に専念できるよう患者サービスに努力します。
4. 医療にたずさわる人間としての使命感を持ち、より高い知識と技術の習得に努力し、安全で高度な医療を提供します。
5. 働きがいのある職場環境を形成します。

患者様の権利

1. 良質で適切な治療を受ける権利
2. 医療上の情報の説明を受ける権利
3. セカンドオピニオンを受ける権利
4. 人格を尊重され治療を自己決定する権利
5. プライバシーを尊重される権利
6. 尊厳を擁護される権利

すべての患者様が等しく、上記の権利を行使できるように、患者様には病院の規則を守り、他の患者様や職員、その他の人々に迷惑をかけない責務があります。